

1 社会教育・生涯学習講座 「アフターコロナ時代の暮らしと間を考える」



期間 令和4年11月21日(月)～令和5年1月30日(月) [全8回]

実施場所 生涯学習総合センター
〒803-0811 小倉北区大門1-6-43 (36ページアクセス参照)

申込・問合せ先 生涯学習総合センター
〒803-0811 小倉北区大門1-6-43
TEL:571-2735 FAX:571-0943

時間 18:30～20:30

応募締切
11月7日(月)

スマートフォンからも
お申込みできます▶

定員 30名

受講料 2,000円

受講生へのメッセージ

コーディネーター：九州大学 教授 岡 幸江、九州女子短期大学 教授 宮嶋 晴子
生涯学習総合センター

コロナ禍もはや3年近くになりました。この間、社会も地域も、大変なスピードで変化をとげてきました。対面が許されない状況のなかで、暮らしのなかにICT・オンラインが急速に浸透し、「体験」の質も変容してきたように思います。いまこそじっくりひとりひとりが、自己と社会を見つめて自らのありようを選択していくが必要になっています。

しかしこの選択・自己決定の基盤がぜい弱化し、ゆらいでいるようにも思われます。市民センター(公民館)は、地域は、こうした変化の時代の市民に何をとどけていけばいいのでしょうか。変化の時代の暮らしと、私たちの考え模索する「間」のゆくえについて、多彩な講師陣とともに考えていきたいと思っています。

岡 幸江

2009年より九州大学准教授、2021年より同教授。社会教育主事講習主任講師(2009～現在)。本講座は、前任者が企画し、2010年より担当しています。

宮嶋 晴子

2020年より九州女子短期大学教授。子育て当事者、子育て市民活動実践者であり、近年は生活困難を抱えた親子の地域活動参加による出会いや学びについての研究をメインに取り組んでいます。

回数	月日	テーマ・内容	担当講師
1	11/21 (月)	オリエンテーション	九州大学 教授 岡 幸江 九州女子短期大学 教授 宮嶋 晴子
2	11/28 (月)	デジタル社会の拡充!? 侵食!? — 私たちの暮らしから考える —	宮嶋 晴子
3	12/5 (月)	アフターコロナの情報選択 — 新聞社の模索に学ぶ —	西日本新聞北九州本社 甲木 正子
4	12/12 (月)	コロナ禍における館広報の模索	元草ヶ江公民館 主事 松田 典子 西門司市民センター 館長 渡辺 いづみ
5	12/19 (月)	リアルとオンライン	くるめオンライン公民館
6	1/16 (月)	変化の時代の遊びと間	真庭市立中央図書館 館長 西川 正
7	1/23 (月)	【オンライン】 “「弱さ」で読み解くコロナの時代”	北海道医療大学 向谷地 生良
8	1/30 (月)	ふりかえりディスカッション	岡 幸江 宮嶋 晴子